

下水道の役割

生活環境をよくします

水洗トイレが使えるようになります。また、家庭や事業場などから出る汚水を下水道に流すことで、溝は雨水だけが流れ、衛生的で美しい街になります。

川や海がよみがえります

家庭や事業場などから流される汚水を処理し、きれいな水にして川や海へかえします。こうすることで、川や海を汚さないようにし、美しい自然を守っています。

浸水から街をまもります

道路や住宅地に降った雨を、道路側溝、雨水管で集めて川や海へ流し、浸水から街を守ります。

処理水や汚泥などを利用できます

高度処理をした水は、トイレ用水、せせらぎなどに再利用できます。汚泥処理施設で発生したメタンガスを使って発電したり、バイオガスで自動車が走ったり、下水道は多くの利用可能な資源を持っています。



東灘処理場



ポートアイランド処理場



鈴蘭台処理場

21世紀を創る—下水道の新しい役割

現在神戸市のほとんど全ての汚水を、公共下水道により処理しています。また、雨による浸水を防ぐことも、下水道の大切な役目です。加えて近年、環境や安全に対する意識が高まっている中で、下水道についても、新しい役割が求められています。



東灘処理場のアーモンド並木

高度情報化

神戸市内や近畿地方の降雨状況を、各家庭や携帯電話から調べることができるホームページを開設しています。また、下水管の中に光ファイバーを通して高度情報化にも対応しています。

下水道資源の活用

汚泥処理で発生する消化ガスを精製し、自動車用の燃料や都市ガスの原料、発電に利用しています。また、汚泥からリンを回収して、肥料として利用する研究も行っています。

災害に強い下水道

大雨や高潮から街を守ります。

神戸市の 下水処理場



西部処理場



垂水処理場

玉津処理場

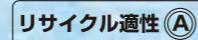


City of Design
KOBE

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

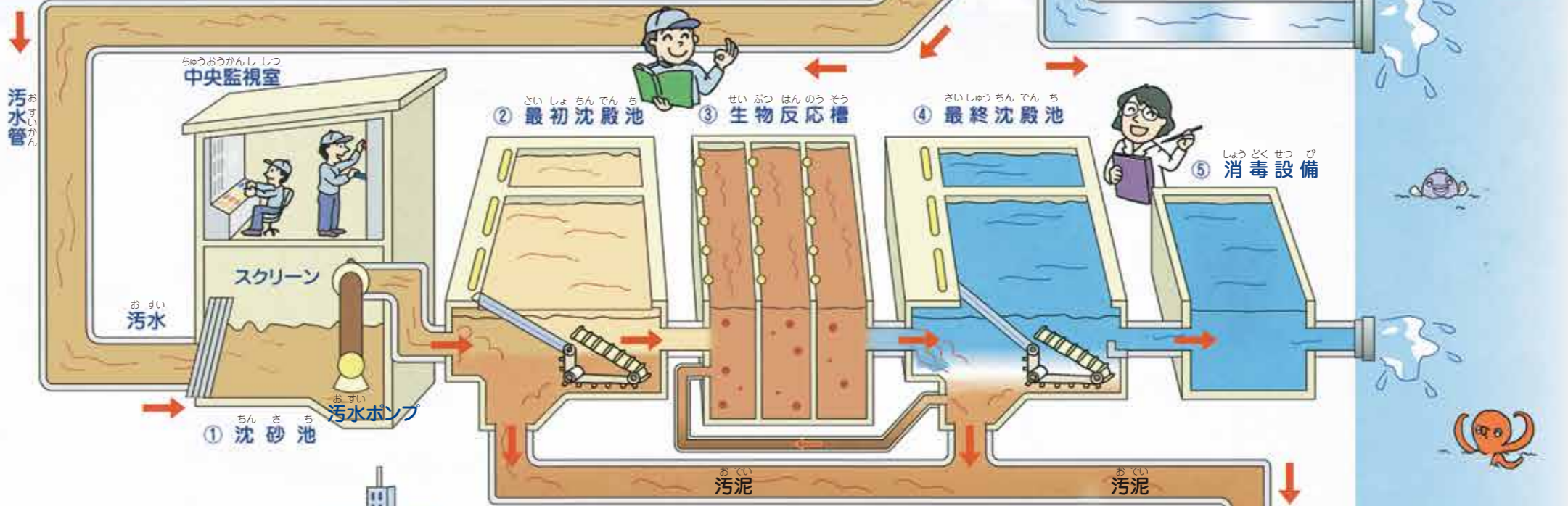
発行／神戸市建設局下水道部
神戸市中央区磯辺通3-1-7 コンコルディア神戸3F TEL:078-806-8708
神戸市広報印刷物登録 令和元年度第192号(広報印刷物規格B-1類)



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

下水処理場のしくみ

神戸市のほとんどのところでは分流式下水道といって、雨水は溝から雨水管に入り、そのまま海や川に出ています。一方の汚水は污水管で集めて処理場に送り、そこできれいな水にして川や海へもどします。



① スクリーンと沈砂池

スクリーンで大きなごみをとります。その後沈砂池で砂や小石を取りのぞきます。

② 最初沈殿池

沈砂池をとった水は、この大きな水槽に入れて、ゆっくり流します。すると小さなごみや汚泥がしずみます。これで水はかなりきれいになります。

③ 生物反応槽

さらに水をきれいにするため、この水槽の底から空気をふきこみます。すると、水の中にある微生物の働きが活ぱつになって、汚れたものをさかんにたべ、それが集まってかたまりになり、底に沈みやすくなります。



つりがね虫 (水の中にある微生物の一種)

④ 最終沈殿池

生物反応槽からおくられた水を、この水槽に入れてゆっくり流すと、かたまりが底にしずみ、水はすっかりきれいになります。

⑤ 消毒設備

きれいになった水を消毒し、病原菌を殺して、海に流します。処理場によっては、さらに砂ろ過やオゾン処理によって、よりきれいにす高度処理を行っています。

⑥ 汚泥処理施設

沈殿池でしずんだごみや汚泥はそこからすいだして一部はメタンガスにします。残ったものは、水分を取った後、焼却します。



こうべバイオガス